



都立病院労組
Toritsu Hospital Workers' Union
ニュース

第0期**15号**

2022. 10. 25

地方独立行政法人都立病院機構労組
執行委員会発行

誰もが納得できる

資格手当の制度設計を!

「年休を使えるだけの人員をそろえてください」 「人がいなくて休めない」(墨東 取得3日 13,000円)



今週も年休買い取りアンケート自由記載欄に寄せられた意見を紹介します。「夜勤従事者には特に健康維持のために年休をとらせるようにすべき。ムチばかりでアメがない。夜勤回数も減らないままで、管理者の能力も疑問に思えてくる(年休は)労働者の権利。きちんと取らせろ」(墨東 取得日数不明 希望額18,000円)年休は、勤務から解放されて心身の疲労を回復させ

リフレッシュさせるためのものです。とりわけ夜勤従事者の場合は、夜勤のため疲労が蓄積します。EUでは、夜勤従事者の週労働時間は常日勤者の週労働時間よりも短く規制されています。日本では残念ながらそのような規制がありません。ですから、この意見のように「健康維持のために年休を」計画的に取得することが必要になります。

それを阻むのは、人員不足です。「人がいなくて休めない」(墨東 3日 13,000円)コロナと人員不足のダブルパンチに見舞われ10月18日の時点で夏休が残っているという深刻な回答も。「病棟全体で年休が取れていない。夏休すらまだ2日残っている。事故休も多かったし取れないのは仕方ないにしても、このまま捨てるのはおかしいと思う」(駒込 5日 10,000円)8波が懸念されています。疲労を蓄積しながら何度も感染拡大の波に立ち向かうのは限界です。法人本部は、現場で働く職員に報いる決断をすべきです。

落ち込む生活水準 円安物価高は今も続くアベノミクスの副作用

円安が続いています。私たちの暮らしは、食料品や燃料の大部分を輸入に頼っています。そのため円安では、食料品や電気代など毎日の暮らしに欠かせないものが、真っ先に値上がりします。この先の見えない円安の原因はアベノミクスです。超低金利で多額の国債を日銀に引き受けさせ、多額の資金が市場に流れ込み株価を吊り上げました。アベノミクスは大企業に利益をもたらしましたが、私たちには暮らしを脅かす痛みだけが押し付けられたのです。



発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は?いますぐチェック →



LINE@
都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です

